

2025年8月発行(年3回)
通巻135号

建設雇用と改善
TOKYO

2025・8
No. 135

都内の建設業に働く人の「雇用・労働・安全」関係の情報誌【テラ】

Terra

Employment & Improvement of the Construction Corporations



地元からの熱い応援 工夫を凝らして「働きやすさ」追求

神田川整備工事(その43)その2
〔真柄建設 株式会社〕

みらいをつくる 建設×女性力

宮部花菜さん
〔育栄建設 株式会社〕

明日を担うづくり

能田電気工業 株式会社

(屋内外電気配線工事・高圧受変電工事他)

これだけは知っておきたい

都内の建設業労働災害 死亡、過去最少の11人

■ 現場で使える天気予報
■ News Digest

■ TOKYO 名所ウォーキング
■ 東京労働局からのお知らせ



完成イメージ

現場訪問
**あんぜん
最前線**

神田川整備工事（その43）その2

施工場所 ▶ 文京区後楽2丁目地内～新宿区新小川町地内

発注者 ▶ 東京都建設局第六建設事務所

施工者 ▶ 真柄建設 株式会社

工期 ▶ 2023年10月～2027年2月

工事概要 ▶ 1時間50mmの降雨に対応する神田川整備工事として、^{しらとり}白鳥橋の上下流
111.4mの区間において橋梁と護岸の撤去、新設を行う。

白鳥橋橋梁工事：作業土工、旧橋撤去工、橋台構築工、仮設工

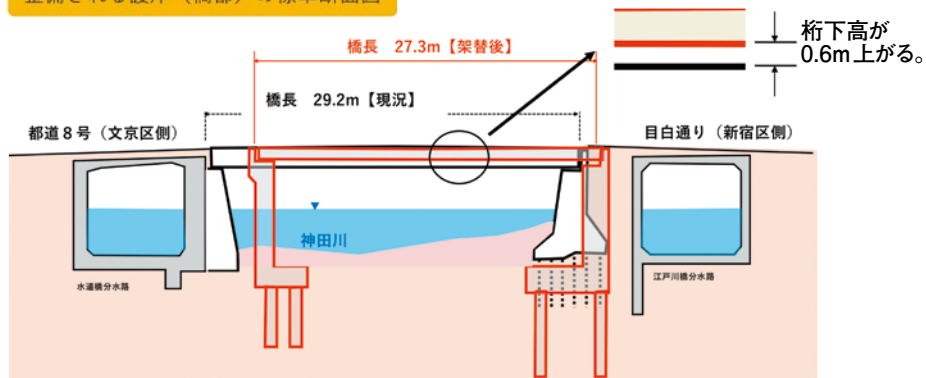
神田川護岸工事：河川土工、作業土工、既設護岸撤去工、護岸工、仮設工

工事用道路工事：道路工、道路附属物工、仮設工

地元からの熱い応援 工夫を凝らして「働きやすさ」追求



整備される護岸（橋部）の標準断面図



東京都内の中小河川で最も広い105km²もの流域面積を持つ神田川では、長年にわたり洪水対策施設の整備が実施されている。文京区と新宿区の区界に当たる白鳥橋上下流区間で護岸などを造る工事もあるが、幹線道路に挟まれ、上空も首都高速道路の高架が覆うなど厳しい制約の下で作業を進めなければならない。施工を手掛ける真柄建設(株)に工程管理の工夫や働きやすい環境の確保に向けた取り組みなどを取材した。

現場は文京区役所から徒歩10分の「安藤坂」を下った先にある。付近の交差点名にもなっている「大曲(おおまがり)」の通り、上流の早稲田方面から下流の飯田橋方面に向かって流路が急カーブを描く。2011年8月の台風襲来時には白鳥橋の桁下高以上に水かさが増して氾濫寸前の状態になった。

そこで1時間当たり50mmの降雨に対応した河道にするため、既設の白鳥橋や護岸を撤去した上で、右岸に新しい護岸と橋台を、左岸には新しい橋台を造る。川底も掘り下げ、別途発注の工事で厚みを減らした新しい橋桁を架けて増水した川の水が安全に流れるようにする。

両脇に交通量の多い都道8号線が走り、右岸側

の上空5mには首都高の高架が迫る。河道内には江戸川橋分水路の吐口と水道橋分水路の呑口も存在する。近接構造物の接触や公衆災害の防止に万全を期するのはもちろん、川の中での作業を伴うことから台風やゲリラ豪雨にも目を光らせる必要がある。

こうした厳しい施工条件の中で安全に工事を進めるため、首都高の高架を支える橋脚にレーザーバリアを設置して建設機械が接近していないかどうか常に把握。天候が急変した際に速やかな作業中止の判断を下せるよう、気象情報のアプリや文京区が運用する水防災監視システムのチェックを怠らないという。

監視技術者を務める真柄建設(株)の中村精弥^{なかむら せいや}さんは、「限られた工事スペースの中でも同時進行が



↑現場は流路が急カーブを描く「大曲」。江戸川橋分水路の吐き口(右)と水道橋分水路の取水口(左)の直下流で、上から首都高の高架が迫る



↑監視技術者の中村精弥さん。工事説明会でも使ったCIMの画像データで工程を説明してくれた



↑上流側から白鳥橋の上部工を3ステップに分けて撤去。1ステップ目を終えて隠れていた桁の側面があらわになった



↑首都高の桁下空間は高さ5m。鋼矢板を溶接して継ぎ足しながらおよそ18mの深さまで打ち込む



④仮栈橋の一角に置いた安全掲示板の前で朝礼を開いている



④仮栈橋の上にテントを構えてすぐに休憩できるようにした



④暑熱による身体リスクを知らせる熱中対策バンドを協力業者全員に配布



④新入社員の研修も行われていた

可能な工程は並行作業を心掛け、工期短縮の工夫を凝らした」と話す。CIM (コンストラクションインフォメーションモデリング/マネジメント) も活用して工程の進捗を作業員と効率的に共有することで、現場の完全週休2日制を実現している。

限られたスペースの随所に 熱中症対策

6月1日から改正労働安全衛生規則が施行され、職場における熱中症対策が義務化された。ただ、現場はそもそも作業スペースに限りがあるため、休憩エリアを確保すること自体が難しい。それでも何とかやりくりし、仮栈橋の上にテントやミスト扇風機を配置。川沿いの文京区の区有地を間借りして休憩所を設け、かき氷やスポーツドリンクを無償で提供している。さらに、熱中症のリスクを検知してアラートで知らせるバンドを作業員全員に着用させて自己管理の徹底を促している。

都電の遺構出現 不測の事態を地元理解の機会に

2024年9月、白鳥橋の舗装を取り払ったところ、かつて走っていた都電の敷石とレールが現れた。想定外の事態に「驚きを隠せなかった」と振り返る中村さんは、通常ならそのまま撤去するものの、発注者の第六建設事務所と相談して一般公開に踏み切った。2日間で計4時間に限定しての対応だったが、貴重な遺構を一目見ようと2,000人以上が集まり“大盛況”だった。

また、白鳥橋の本格的な撤去の前に地元住民を招いてお別れ会を開催。子どもたちに建設機械の試乗体験を用意したり、白鳥橋へのメッセージを書き込んだボードを作成してもらったりした。

こうした取り組みは通行止めに難色を示していた自治会から理解と協力を得る機会にもなり、現在まで大きなクレームもなく工事を進められている。中村さんは「地元からの応援はやりがいにつながる」と笑顔を見せる。

6月時点では白鳥橋の橋桁の撤去を継続しつつ、

既設護岸の背後に鋼矢板を打設していた。中村さんは「まずは無事故無災害で設計通りに完成させるこ

とが何よりも重要。発注者の理解と協力も得ながら、丁寧に品質の良いものを仕上げたい」と意気込んだ。



↑鉄道ファンと思われる人々が都電の遺構を見ようと駆け付けた



↑白鳥橋のお別れ会では子どもたちが折り紙にメッセージを書き込んでくれた

現場で働く人々



株式会社 角藤

武井 義明さん 仮橋工、仮締切工
(たけい・よしあき)

首都高の下で施工するため搬入路が狭く、建設機械の搬入に苦労しました。作業員一人一人の特性を見極めた上でコミュニケーションを図っています。無理をさせないようにこまめに声も掛けています。



杉崎基礎 株式会社

佐藤 賢一さん 仮締切工
(さとう・けんいち)

幹線道路沿いのため、道路上の信号機と建設機械が接触したり、泥が一般車両にかかったりしないように注意しながら作業を進めています。仮囲いなどに少しでも異変があれば速やかに報告して修復するようにしています。



アムス警備 株式会社

菰田 隆さん 警備
(こもだ・たかし)

他の現場では地域住民からの苦情を受けることも多々ありますが、この現場は一度もクレームを聞いていません。地元と良好な関係を築けているからだと思います。警備業は近隣対応が大切ですので、朝の清掃や通行者へのあいさつを欠かさず積極的に取り組んでいます。

～みらいをつくる～ 建設×女性力

〈建築工事など〉
育栄建設 株式会社
宮部 花菜さん
(みやべ・はな)



「ものづくり愛」を武器に主任技術者を目指す

「自分の手にはおさまらない、大きなものを作りたい」—幼い頃からものづくりが好きで、美術大学に進み彫刻を学んだ。制作は楽しかったが「学生時代は自分のための作品づくりだった。今度は人のためのものづくりを」と考え、建設会社を志すことに。美大出身者は珍しく周囲に驚かれたが、培った「ものづくり愛」を武器に飛び込んだ。



熱中症対策のポスターを作成中

就職先の決め手となった一つが、女性社員の多さだ。18人中8人が女性という割合の高さもあって、更衣室やトイレなど、職場環境は充実している。加えて「性別に関係なく平等に接してもらえることが、何より働きやすい」と感じているという。そんな職場で女性の先輩の背中を見ながら、「私だってできないことはない」という強気なマインドも育んだ。そうして入社3年目に担当した竹芝客船ターミナルのエスカレーター屋根新築工事が、東京都港湾局の優良工事表彰という形で実を結んだ。

特に思い入れがある現場として、入社4年目に担当した、代々木公園の陸上競技場の工事を挙げる。車いす利用者専用の観客席設置と倉庫の新築だったが、「それまで経験した工事と比べ、必要な知識量が段違いだった」と振り返る。1年間の工期の中、工程が複雑な上、数多くの作業員が働き、指示出しなどに苦労した。時には年配の作業員から厳しい言葉を受けることもあったが、「毎日必死に勉強し、無事に完成できた」とさらなる成長につながった。

4月に入籍しプライベート面も充実。今後は出産など、ライフステージの変化もイメージするが、当面は1級建築施工管理技士の取得に向け、勉強の日々だ。また、社内では産休・育休制度の利用例はないが、制度の初例になりたいとの思いも。「復帰後に戦力になれば、会社の負担も少なく、後輩も利用しやすくなると思う。そんな姿をみせられたら」と、新たな道を切り開く。

就職先の決め手となった一つが、女性社員の多さだ。18人中8人が女性という割合の高さもあって、更衣室やトイレなど、職場環境は充実している。加えて「性別に関係なく平等に接してもらえることが、何より働きやすい」と感じているという。そんな職場で女性の先輩の背中を見ながら、「私だってできないことはない」という強気なマインドも育んだ。そうして入社3年目に担当した竹芝客船ターミナルのエスカレーター屋根新築工事が、東京都港湾局の優良工事表彰という形で実を結んだ。

特に思い入れがある現場として、入社4年目に担当した、代々木公園の陸上競技場の工事を挙げる。車いす



作業手順があっているかを確認

現場で使える天気予報

第19回

台風の強さや大きさとは？ 8月に接近する台風はこまめな情報確認を

株式会社 ライフビジネスウェザー 気象予報士 小櫃美月(おびつ・みづき)



台風の強さと大きさは何が基準？

昨年2024年8月のお盆頃に関東へ「非常に強い」勢力で接近した台風7号。新幹線や航空機のダイヤに大きな影響が出たため、覚えている方も多いのではないのでしょうか？

一般に台風は、風によってランクが分かれ「強さ」と「大きさ」の基準が決められています。「強さ」は最大風速で分類され、「大きさ」は強風域の広さで決まります(図1)。台風の強さは3段階で分けられ、最大風速が33m/s以上44m/s未満は「強い」、44m/s以上54m/s未満は「非常に強い」、54m/s以上は「猛烈な」強さとなります。また、大きさは2段階に分かれ、風速15m/s以上の強風域の広さで決まります。強風域が半径500km以上800km未満の場合「大型」、800km以上の場合「超大型」となります。台風の強さ・大きさの決まりには雨量が含まれていないため、コンパクトで強いランクに満たない台風でも、大雨をもたらすことがあります。

図1 台風の強さと大きさ

台風の強さ

台風の強さ	最大風速 ※10分間の平均風速の最大値
猛烈な	54m/s以上
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
強い	33m/s以上44m/s未満

台風の大きさ

超大型	強風域の半径800km以上
大型	強風域の半径500km以上



図2 台風進路図の見方



台風進路図の見方とは？ 予報のこまめな確認が大切

特に8月頃の台風は、海水温が高いため、日本近海でも急速に発達し、強さを保ったまま接近する傾向があります。「強い」以上の勢力で台風が接近・上陸する場合は、建設現場では被害を最小限に抑えるような対策が必要になります。気象庁で公開されている台風進路図では、台風の進路や強さ、大きさ、位置情報を確認することができます(図2)。台風が発生している場合は、3時間おきに情報が更新され、半日程度の内に予想が大きく変わるケースもあるため、こまめな確認が大切になります。5日先までの予報円が現場に掛かるような場合は、工事用ネットや三角コーンなどの飛散しやすい物を片付け、重機の転倒対策を行ない、無理のない作業計画を立てる必要があります。また、25m/s以上の暴風域に入る時間ごとの確率も見ることができますので、早めの対策に生かしてください。

一人一人に向き合い 社員の成長を後押しする

能田電気工業 株式会社

荒川区で創業して、94年が経つ^の能田電気工業。南千住に拠点を置き、地域の暮らしを支える地場企業だ。公共施設や民間施設の電気工事を手掛けるとともに、サンシャインシティのメンテナンスや宮内庁の小規模電気設備の改修なども担う。井上有子^{いのうえゆうこ}社長は、ガンで亡くなった兄の意志を受け継ぐ形で9年前に4代目の社長に就任。社員の育成や採用の難しさを痛感しながらも「一人一人が生き生きと成長できる環境」の構築に努めている。若手社員の採用と育成をどう進めていくのか。今も模索は続くが、一貫しているのは従業員を思いやる社長の姿だ。



井上有子社長

社員に寄り添って

兄でもある先代の社長は思い立ったら自ら行動する猪突猛進タイプだったという。今でも続く宮内庁の仕事は兄が営業に足繁く通い、照明設備の交換の仕事から始まった。

社長を引き継いだ当時は3人の子どもを育てる専業主婦。家業のため、若い時に事務作業を手伝った程度で電気工事の知識もなく、就任後は不安な日々

が続いた。

社業と向き合う中で、人材定着の取り組みの転機となったのが、20代の中途社員の悩み相談に乗る目的で始めた交換日記だった。若手社員がどれだけ真剣に業務に取り組んでいるか気づかされ、「社員のためにもっと頑張らないといけない」と痛感。「社員一人一人を尊重し、彼らが少しでも働きやすい環境を整え、寄り添いながら共に成長していこう」と強い気持ちで会社を運営する覚悟が決まったと振り返る。

向き合うことで得られた理解

20代で中途入社した社員は、アルバイトの経験のみで、コミュニケーションの取り方に悩んでいた。対面で本音を聞くより文面の方が本音を伝えやすくなると思い、交換日記を開始。3カ月程続ける中で、現場代理人や作業員への接し方、基本的なマナーを教えた。

「素人同然」で社長となった自身にとっても、社会人になったときの不安な気持ちが理解できるため、交換日記を通じて本音を交わすことで良好な関係性を築くことができた。今、その社員は中堅として現場



アットホームな雰囲気の社員



📍 施工现场の様子

で活躍している。一人一人の個性を見いだすことでそれぞれに見合ったアドバイスを継続することが重要だと実感している。

時代に合わせた採用手法

地元 に根ざした企業として認知度はあるものの、新卒の採用は厳しい状況にある。採用手法は時代に即して臨機応変に対応するしかないとも感じている。

これまで、工業分野の専門学校を対象に企業説明などを行ったが採用には結び付かなかった。そのため、経験を持つ中途の採用に重点を置き、ポリテクセンターや職業能力開発センターから採用するルートに切り替えた。これにより一定の成果を得られることができた。

社員に対しては、「一括りにするような人事評価」ではなく、個々の適性に合わせた人材育成研修などを行い、個々に合わせた基準で評価することで「成長を後押ししていきたい」という。

さらに、先輩社員が後輩社員をマンツーマンで教育するブラザー制度を導入し、若手人材を育てる職場環境も整えている。

採用に向けた取り組みは「即戦力、だけにとどまらない。荒川区と協働した「まちゼミ企画」で夏休みを利用した子ども向けの電気工作体験会を5年前から開催。幼い頃から少しでも電気工事業界に興味を持ってほしいという思いから続けている活動だという。



📍 電気工作体験会の様子

特定技能外国人の採用も視野に

建設業界は大手から中小、そして総合工事業から専門工事業まで採用競争が激しい状況が続いている。そんな中で、同業者から特定技能外国人の話を耳にした。30代～40代の未経験者採用を継続すると同時に、即戦力として期待できる、専門性や技能を持つ特定技能外国人は魅力的に映る。既に20代の中国人（専門学校の電気科卒）を採用していることもあり、適切な対応と準備をし、最終的には人柄を見て判断すれば採用は可能だと考えている。

生き生きと働ける職場を目指して

こうした人材の確保・育成に取り組む中で、特に重要だと感じているのが「個々の適性を見極め、成長できる環境を整えること」だ。これまでの業務を細分化し、社員それぞれの適性を踏まえた適材適所の配置をすることで業務を効率化したいとの思いがある一方、社員の数には限りがある。だからこそ、社員一丸となって知恵を出し合い、その成果が少しずつ出ていることは希望として受け止めている。

能田電気工業 株式会社

会社概要

住所 ● 東京都荒川区南千住5-25-9

創業 ● 1931年

事業内容 ● 屋内外電気配線工事・高圧受変電工事他

資本金 ● 1275万円

知^{これだけは}っておきたい…建設業労働災害

都内の建設業労働災害 死亡、過去最少の11人 Terra編集部

厚生労働省東京労働局のまとめによりますと、昨年の2024年に東京都内で発生した建設業労働災害による死者数は11人で、前の年の2023年より6人減り、2020年の12人を下回って過去最少となりました。また、休業4日以上+死亡の死者数は1,035人で、こちらも2023年から64人減り、2020年と2021年の978人に次いで過去2番目の少なさでした。東京労働局では建設業界の労働災害防止に関する取り組みの結果だと評しつつも、今年の2025年に入って死者数が増加傾向を見せていることから、改めて安全対策の徹底を求めています。

死亡「建築」半減 「墜落、転落」も大幅減

2024年に発生した建設業労働災害の状況を見ると、死亡した11人の業種別内訳は建築工事業が6人(5人減)、その他の建設業が3人(前年と同数)、土木工事業が2人(1人減)で、建築工事業がほぼ半減しました。事故の型別では「はさまれ、巻き込まれ」の3人(2人増)と熱中症を分類する「高温・低温の物との接触」の3人(前年と同数)で全体の半数以上を占め、「激突され」の2人(1人増)、「交通事故(道路)」の1人(1人増)、「飛来、落下」の1人(1人減)、「墜落、転落」の1人(5人減)が続いています。

「墜落、転落」の大幅な減少が際立つ反面、「はさまれ、巻き込まれ」が増え、「高温・低温の物との接触」も同水準にあるのが特徴です。

死傷「墜落、転落」7割強が建築

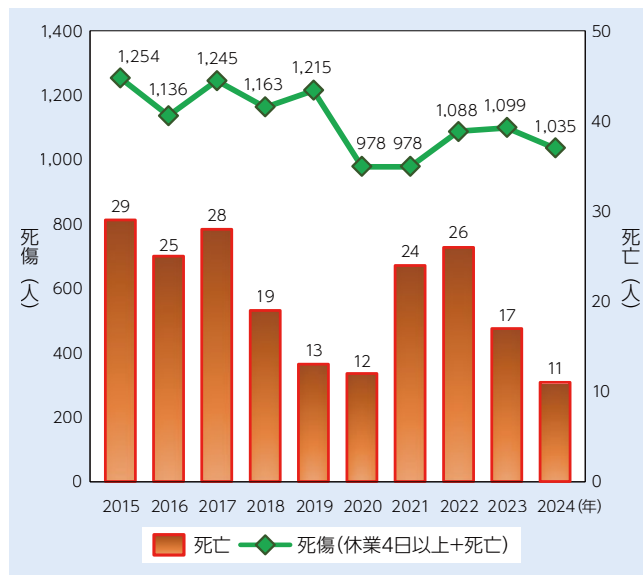
一方、死傷した1,035人の業種別内訳は建築工事業が687人(11人減)、その他の建設業が185人(27人減)、土木工事業が163人(26人減)といずれも減少しました。事故の型別では「墜落、転落」の311人(30人減)を筆頭に、「転倒」の128人(16人増)や

■事故の型別・業種別状況(2024年、確定値)

事故の型	死亡 死傷	土木工事業		建築工事業		その他の建設業		全業種計	
			増減		増減		増減		増減
墜落、転落	死亡		0	1	▲4		▲1	1	▲5
	死傷	30	▲3	223	▲9	58	▲18	311	▲30
転倒	死亡		0	0		0		0	
	死傷	17	0	79	2	32	14	128	16
飛来、落下	死亡		0	1	▲1		0	1	▲1
	死傷	16	▲4	62	▲5	11	▲8	89	▲17
激突され	死亡		0	2	1		0	2	1
	死傷	14	2	29	▲3	8	▲2	51	▲3
はさまれ、巻き込まれ	死亡		0	1	1	2	1	3	2
	死傷	25	▲15	77	18	22	5	124	8
切れ、こすれ	死亡		0	0		0		0	
	死傷	12	▲2	65	12	17	8	94	18
高温・低温の物との接触	死亡	2	1	1	▲1		0	3	0
	死傷	9	3	18	0	2	▲3	29	0
交通事故(道路)	死亡		0	0		1	1	1	1
	死傷	7	2	14	▲7	4	▲4	25	▲9
動作の反動、無理な動作	死亡		0	0		0		0	
	死傷	12	▲2	47	▲7	15	▲9	74	▲18
事故の型計	死亡	2	▲1	6	▲5	3	0	11	▲6
	死傷	163	▲26	687	▲11	185	▲27	1,035	▲64

※死傷は休業4日以上+死亡。死亡は死傷の内数。「事故の型計」の値は死亡0人の事故の型などを含む総計

■建設業労働災害の推移(東京労働局管内、確定値)



「はさまれ、巻き込まれ」の124人(8人増)、「切れ、こすれ」の94人(18人増)などが続いています。

とりわけ「墜落、転落」の死傷者のうち建築工事業は223人(9人減)と全体の7割強を占めていました。起因物別の死傷者数は「はしご等」の107人(17人減)、「足場」の31人(9人減)、「トラック」の28人(3人減)が上位でした。また、死亡者こそないものの、「転倒」と「切れ、こすれ」などの増加は懸念材料と考えられます。

7～8月に多発 高齢者、ベテランが被災

死亡災害の事例からは7月から8月にかけて多発していることが分かります。時期的な傾向は2023年と変わらず、熱中症の割合が高くなっています。また、全体を見渡すと被災者の年齢は50歳代が6人と半数を超え、経験年数は10年以上が8人に上っています。比較的年齢の高い労働者が遭いやすく、ベテランであっても見落としかねない危険の芽が現場に潜んでいる可能性があります。

2025年は増加傾向 労災ゼロへ一層の取り組みを

2025年の東京都内の建設業労働災害は5月末時点の速報値で死亡者数が4人(3人増)、死傷者数が278人(21人減)。死亡は1月以来5カ月連続で前年を上回り、死傷も4月までは前年を超えていました。事故の型のうち「墜落、転落」は死亡が2人(2人増)、死傷が88人(5人減)で最多です。今年の夏場も平年に比べ気温が高いとの長期予報が出ています。

東京労働局は5月に大手建設業事業者との会議を開いて熱中症予防をはじめする労働災害防止対策の徹底を要請しました。また、7月の全国安全週間に合わせた工事現場の集中指導では、法令(改正労働安全衛生規則)に基づいて足場からの墜落防止措置や職場の熱中症対策が実施されているか、同局が重点事項に掲げる安全衛生管理活動の「4K」(決意表明、高所対策、管理活性化、教育強化)が展開されているかをチェックしました。

労働災害は本来あってはならないもの。2024年の過去最少から2025年になって増加に転じた死亡者数に歯止めをかけられるのか。死傷者数の減少を継続できるのか。建設業界をはじめとする関係者の労災ゼロに向けた一層の取り組みが求められています。

建設業死亡災害事例(2024年)

月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
		年齢	起因物	
		経験		
4月	その他の建設業	設備機械工	はさまれ、巻き込まれ	機械式駐車場の整備工事中において動作確認していた際、リフト付近で異音が生じたため、運転させながら覗き込んだところ、車両を載せるパレットの支柱と設備の間に被災者の頭部が挟まれたもの。
		40歳代	エレベータ、リフト	
		10年以上20年未満		
5月	その他の建設業	作業員・技能者	交通事故(道路)	機械設備の設置工事現場に車で向かう途中、高速道路上で停止していたところを後方からのトラックに衝突されたもの。
		40歳代	トラック	
		10年以上20年未満		
6月	建築工事業	解体工	飛来、落下	解体現場における重機による地上解体中、落とした解体ガラが地上にあった配管をはじき飛ばし、重機の後方で散水作業をしていた被災者の胸に直撃したものと推測される。
		50歳代	その他の材料	
		10年以上20年未満		
7月	土木工事業	土工	高温・低温の物との接触	学校のグラウンド改修工事を行っていたところ、熱中症により死亡したもの。
		40歳代	高温・低温環境	
		1年未満		
	建築工事業	鉄筋工	高温・低温の物との接触	鉄筋圧接業務の補助役を担っていたところ、熱中症により死亡したもの。
		50歳代	高温・低温環境	
		10年以上20年未満		
	その他の建設業	作業員・技能者	はさまれ、巻き込まれ	地下スロープ内で高所作業車のアウトリガー張り出し作業中に、高所作業車が逸走し始め、被災者を巻き込んだもの。
		50歳代	高所作業車	
		20年以上30年未満		
	建築工事業	作業員・技能者	激突され	被災者は、掘削用機械による敷き鉄板を移動させる作業の補助業務に従事していたところ、掘削用機械が転倒し、同機械の下敷きとなったもの。
		20歳代	掘削用機械	
		10年以上20年未満		
建築工事業	鉄筋工	墜落、転落	屋上階床上に搬入した鉄筋束の端部をクレーンで持ち上げようとしたところ、かけていたワイヤーロープが外れ、荷が落下した衝撃で資材を置いていたデッキプレートが崩落し、被災者が巻き込まれて約11m墜落したもの。	
	20歳代	作業床、歩み板		
	5年以上10年未満			
8月	建築工事業	管理者	はさまれ、巻き込まれ	高架駅の設備更新工事において、道路上に高所作業車を配置し、被災者ほか2名が同作業床に乗り、順次、同駅下部の外壁材を取り外しながら内部を点検する作業中、同作業床内部から身を乗り出して操作していた被災者が同外壁材と作業床の手すりの間に頸部が挟まれ、死亡したもの。
		50歳代	高所作業車	
		20年以上30年未満		
土木工事業	土工	高温・低温の物との接触	鉄道工事の非常口(立坑)を建設している現場でダンプカーの運転を終え、会社に戻った後、熱中症により死亡したもの。	
	50歳代	高温・低温環境		
	1年以上5年未満			
9月	建築工事業	その他の作業員	激突され	コンクリートポンプ車の輸送管内の生コンクリート除去作業のため、洗浄ボールを輸送管に挿入し、圧縮空気を輸送管内に送り、洗浄ボールで生コンクリートを押し出していたところ、ホースの先端から白煙と洗浄ボールが飛び出し、その反動で振れたホースに激突されたもの。
		50歳代	その他の建設機械等	
		30年以上		

鉄道連続立体化後に 新たに生まれた 線路跡地の にぎわい

東京まち歩きライター

鈴木伸子 (すずき・のぶこ)

文筆家・東京まち歩きライター

雑誌「東京人」の元副編集長。

日々東京を徘徊中、執筆中。女鉄道マニアの修行中でもある。

著書に『シブいビル』、『山手線をゆく、大人の町歩き』など。

現在都内各地では、京王線や西武新宿線、京成押上線、京急本線の一部などで、線路の連続立体交差化が進行中。そうした高架化・地下化により、交通渋滞を解消し、線路跡地が飲食・商業施設、オフィス、保育園、公園や、周辺住民の生活利便性を向上させる施設に活用されるなど、かつては線路で分断されていた地域の新たな街並みづくりに貢献している例も多く見られるようになっている。

小田急線の東北沢-世田谷代田間は2013年に地下化。その全長1.7kmの線路跡は段階的に開発され、2022年に、飲食、商業施設、公園、空き地、駅前広場、ホテル、旅館、保育園、教室などが並ぶ「下北線路街」として全面開業した。



📍下北沢駅南西口近くの線路跡にできたシモキタ雨庭広場

この線路街を、下北沢駅南西口から世田谷代田駅方面に向かって歩いてみると、駅前に近い場所には雑木林と植物が繁る「シモキタのはら広場」が、その先には、すり鉢状の地形を活かした「シモキタ雨庭広場」が広がっている。

その先の「ボーナスストラック」は、飲食・物販店、コワーキングスペースやシェアキッチン、SOHO住居などが集まる新スタイル商店街。さらに進んでいくと、保育園や箱根の温泉のお湯が楽しめる高級旅館なども見られ、地域のニーズや、小田急沿線らしさを感じる街並みだ。

この下北線路街は、開発事業者である小田急電鉄と地元自治体である世田谷区、周辺住民が協議の上、地域の価値観を重視して、その本来の魅力を引き出す「支援型開発」の手法で生まれたという。そうした新しい街が、今後どのように周辺地域と渾然一体となっていくか、期待をもって見守りたい。

東横線沿線で線路跡、高架下商店街めぐり

一方、東急東横線沿線でも、この十年ほどの間に地下化された線路跡や既存の高架下を商店街化する



📍ニュータイプの商店街「ボーナスストラック」



📍「ボーナスストラック」内の中庭的な飲食スペース



📍温泉旅館由縁別邸代田。箱根から湯を運んだ露天風呂もある



①「ログロード代官山」のドーナツ店は行列ができる人気店

②「中目黒高架下」。周辺の街並みとも一体化してにぎやか

③「学大横丁」にはスナックや居酒屋が並び

ことで、新たなにぎわいを生むプロジェクトが進められてきた。

東横線の渋谷-代官山間は2013年に地下化。その代官山駅にほど近い線路跡地には、全長220mの商業施設「ログロード代官山」が2015年にオープン。ここには、レストラン、ドーナツ店、インテリアショップなど代官山らしい業種の5軒の店舗が並び、緑豊かな遊歩道が各店を繋いでいる。

隣りの中目黒駅、また、渋谷から4駅目の学芸大学駅は、以前から高架区間だったが、中目黒では2016年に駅を中心とした700mの区間を「中目黒高架下」に、学芸大学では2021年から24年にかけて、駅周辺の1.2kmの区間を「学大高架下」として、店舗や事務所などに開発した。

中目黒は、東京メトロ日比谷線との乗り換え駅でもあり、繁華街としての色合いも濃い街。高架の高さも地上3階ほどで、「中目黒高架下」は、周辺の居酒屋街などとも一体化したガード下飲食店としてのにぎわいが楽しい街並みになっている。

住宅街である学芸大学駅前の「学大高架下」のテナントは、より生活に密着した東急ストアや生鮮食材の店、テイクアウトもできるレストランなど。

高架下の渋谷側のエリアには居酒屋やスナック、バーなどが並び「学大横丁」と名付けられた飲食店街や、シェアオフィスなども設けられている。

各駅を巡ってみると、同じ路線の線路跡開発でも街の個性や入居しているお店のキャラクターも各土地それぞれで、「線路跡商店街めぐり」といった新たな鉄道沿線散歩も楽しめそうだ。

中央線高架下で進んでいる新しいまちづくり

JR沿線でも、2010年に高架化工事が完了した三鷹-立川間では、高架下を駅舎や商業施設だけでなくさまざまな用途に活用する試みが行われている。

中央線の東小金井駅で改札を出ると、高架下は、スーパー、食料品店、飲食店、学習塾などの商業施設となっていて、ひと昔前の、駅前に何もなかった時代の東小金井を知る者としては驚くべき変化とを感じる。さらに線路沿いに整備された遊歩道をしばらく歩いていくと、手軽な利用料で小商いを始めることができるシェアオフィスや、フードビジネスも含めてのものづくりのためのインキュベーション施設、保育園、シェアサイクルのステーションなどが並んでいる。地域の個人事業主がここから新たなビジネスを小額の資本で始めることができる場所が、鉄道高架下というわかりやすい場所に設置されていることで、周辺とのつながりも広がっていきそうだ。

このほかにも中央線では、以前から高架化されていた阿佐ヶ谷や高円寺の高架下にも新たな商業施設、飲食店街が生まれ、今までとは別次元の活用例とにぎわいが生まれている。

現在工事が進められている連続立体交差化区間にも、今後そうした街並みが広がっていくことだろう。



④JR東小金井駅付近の高架下「ヒガコ東」のインキュベーション施設



⑤東小金井駅付近は2010年に高架化された



⑥東小金井駅付近の、高架下遊歩道「ののち」



⑦阿佐ヶ谷駅前の商業施設「Beans」は2017年オープン

改正安衛則の熱中症対策 都道府県に通知

5月

厚生労働省は熱中症対策を強化した改正労働安全衛生規則を都道府県に通知して関係者への周知徹底を求めました。熱中症を発症する恐れのある作業を行う事業者に対し、発症についての報告体制の整備や熱中症を悪化させないための措置・手順の作成と周知を義務付けます。6月1日に施行しました。

「熱中症を発症する恐れのある作業」は暑さ指数(WBGT)が28度以上、または気温が31度以上の「暑熱な場所」で、継続して1時間以上または1日当たり4時間を超えて行われることが見込まれるものです。事業場内外の特定の場所だけでなく、出張先や労働者が移動して複数の場所で行う作業なども対象です。

労働者以外の一人親方などが熱中症を発症した場合や、発症していると疑われる場合も、事業者が定めた体制にのっとって報告する必要があります。複数の事業者が混在して作業する建設現場では、全ての元方事業者と関係請負人の事業者措置義務が生じるため、各事業者が共同して一つの緊急連絡先を決め、作業者の見えやすい場所に掲示しなければなりません。

厚労省では発症者を早期に発見するため、責任者などによる作業場所の巡視、2人以上の作業員がお互いの健康状態を確認するパディ制の採用、ウェアラブルデバイスを用いたリスク管理などを推奨しています。

労働局 熱中症対策で港区芝の現場をパトロール

5月

厚生労働省東京労働局は港区芝の「(仮称)住友不動産芝二丁目計画」の工事現場で熱中症予防対策のパトロールを行いました。5～9月に実施している「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」の一環です。川又修司労働基準部長らが現場に赴き、施工者の竹中工務店が講じているさまざまな対策を確認して回りました。

現場は都営三田線「芝公園駅」から徒歩1分の日比谷通り沿い。鉄骨一部鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階地上21階建て延べ3万9,947㎡のオフィスビルを建設しています。

施工者の竹中工務店は重点巡回場所の設定、水分・塩分の補給状況の管理など10項目を掲げて熱中症の予防に取り組んでいます。また、2025年度からは「熱中症対策三本の矢」と題して▽暑さ指数(WBGT)が31度以上の際は全作業員にORSタブレットを配布▽頭(脳)のクールダウン▽身体(深部体温)のクールダウンを実施します。

パトロールを終えた東京労働局の川又部長は「連絡体制の確立、ポスターによる周知徹底などの取り組みは素晴らしい」と評して対策の継続を要望しました。これに対し、竹中工務店の関係者は「社として1人も熱中症を出さないという決意の下で取り組んでいく」と応じました。



News Digest

ニュースダイジェスト

育成就労制度の 「主たる技能」考え方提示

6月

出入国在留管理庁と厚生労働省は育成就労制度の基本方針などに関する有識者会議を開き、育成就労外国人が修得すべき「主たる技能」の考え方を示しました。従事する分野・業務の中から計画的に育成する技能を「主たる技能」に位置付けて、特定技能に移行する際の評価対象とします。「主たる技能」の設定方法は二通りで、業務全般に関する一つの技能または、特定業務に関わる複数の技能とします。

当日の会議では鉄道分野の軌道整備と電気設備整備への育成就労制度の導入についても検討しました。軌道整備は1年目試験に既存の軌道保守整備技能実習評価試験(初級)を活用し、電気設備整備の1年目試験では新たに育成就労評価試験を整備します。ともに3年目試験は特定技能評価試験を活用することになっています。

東京労働局長 環七調節池の工事現場をパトロール

7月



厚生労働省東京労働局の増田嗣郎局長は東京都が整備を進める「環七号線地下広域調節池(石神井川区間)」の工事現場で安全衛生パトロールを実施しました。7月1～7日の全国安全週間に合わせて工事現場を集中指導する取り組みの一環で、施工者の大成・鹿島・大林・京急JVが展開する安全衛生管理の状況などを確認した上で、改めて労働災害防止対策の徹底を求めました。

パトロールした工事では中野区野方5丁目～練馬区高松3丁目の環七通りと目白通りの地下約30～40mに、内径12.5m、延長約5.4kmで貯留量約68万㎡の地下トンネル式調節池などを造ります。2017年3月の着工から無事故・無災害を継続中です。

施工者の大成・鹿島・大林・京急JVは、立坑から資材を台車ごと投入できるリフトを設けてトンネル内のストックヤードに自動搬送したり、車両誘導時の声の掛け合いを原則化するなどの安全対策を講じています。職長会も災害事例の発表やパトロールと点検結果の周知に加え、現場周辺の一斉清掃を行っています。

パトロールを終えた増田局長は「労働災害の防止には安全衛生意識を向上し続けることが極めて重要だ。皆さんの安全と命を守るため不断の努力を継続し、全国の工事現場の模範になってほしい」と作業員らを激励。これに対し職長会の代表は「作業所の全員が一丸となり無事故・無災害の達成を目指す」と決意表明しました。

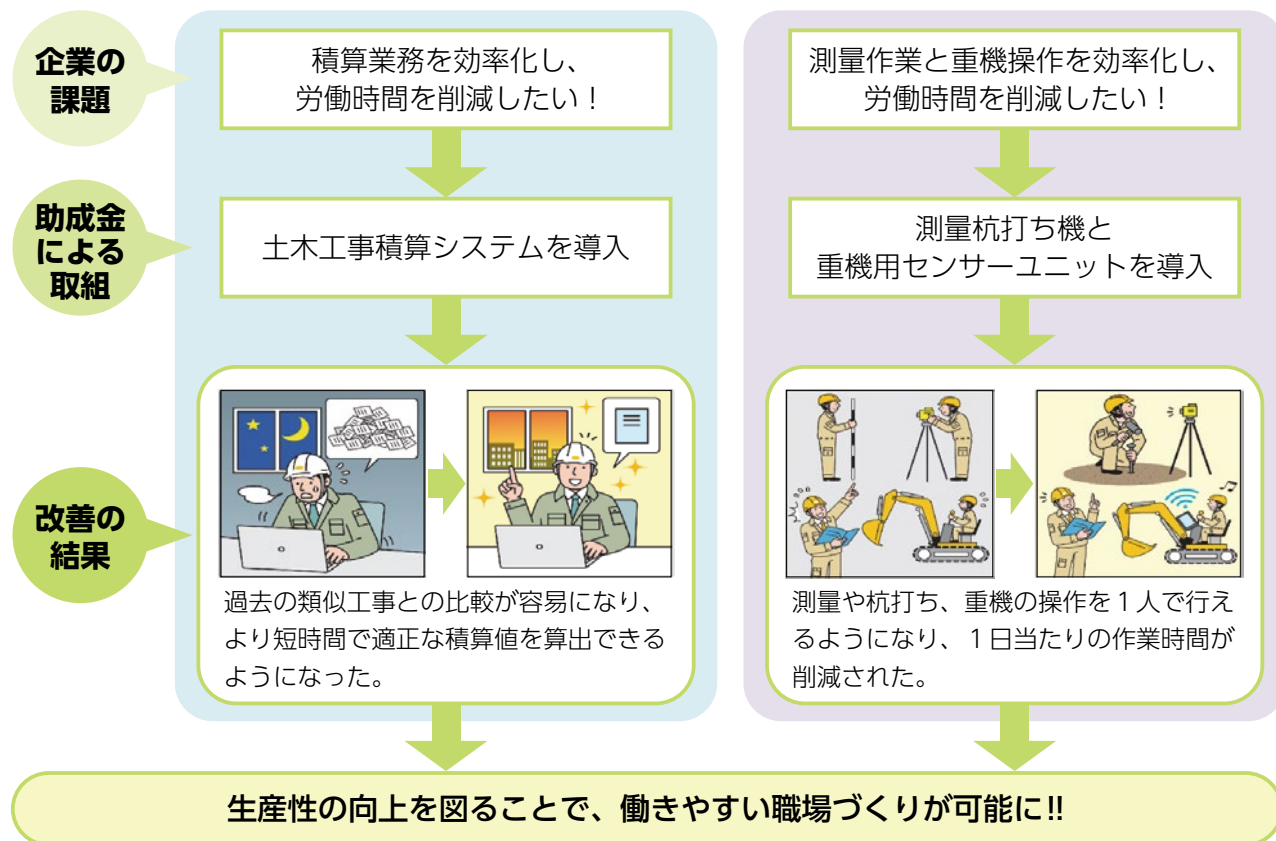


令和7年度「働き方改革推進支援助成金」 業種別課題対応コース（建設業）のご案内

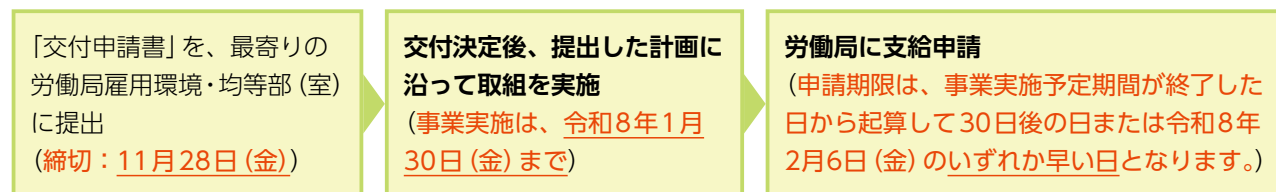


このコースは、生産性を向上させ、労働時間の削減や週休2日制の推進等に向けた環境整備に取り組む、**建設業の中小企業事業主**の皆さまを支援します。ぜひご活用ください。

課題別にみる助成金の活用事例



ご利用の流れ



（注意）本助成金は国の予算額に制約されるため、11月28日以前に、予告なく受付を締め切る場合があります。

ご不明な点がございましたら、東京労働局 雇用環境・均等部
働き方改革推進支援助成金担当（TEL：03-6893-1100）までお問合せください。



申請書の記載例を掲載している「申請マニュアル」や「申請様式」は、こちらからダウンロードできます。



電子申請システムによる申請も可能です。詳しくはこちらから。
（<https://www.jgrants-portal.go.jp/>）



東京労働局からのお知らせ

STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン推進中!

準備期間 → キャンペーン期間

4月 5月 6月 7月 8月 9月

重点期間



STOP! 熱中症
キャンペーン
(改正省令内容含む)



ロゴマークシール



東京労働局 HP 内
熱中症予防対策

キャンペーン期間中にすべきこと

☐	暑さ指数の把握と評価	☐	暑さ指数の低減	☐	休憩場所の整備
☐	作業時間の短縮	☐	暑熱順化への対応	☐	水分・塩分の摂取
☐	服装等の見直し	☐	ブレイクリング	☐	健康診断結果に基づく対応
☐	労働者の健康状態の確認	☐	労働衛生教育	☐	異常時の対応

令和8年1月1日以降に着工の解体又は改修の工事から、
一部の工作物の石綿事前調査には**資格取得が必要**となります!

下記の工作物の工事を行いますか?

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 反応槽 | ☐ 貯蔵設備 |
| ☐ 加熱炉 | ☐ 発電設備 |
| ☐ ボイラー及び圧力容器 | ☐ 変電設備 |
| ☐ 焼却設備 | ☐ 配電設備 |
| ☐ 配管設備 | ☐ 送電設備 |

YES



工作物石綿事前調査者の資格が必要

- | |
|--|
| ☐ 煙突 |
| ☐ トンネルの天井板 |
| ☐ プラットホームの上家 |
| ☐ 遮音壁 |
| ☐ 軽量盛土保護パネル |
| ☐ 鉄道駅の地下鉄構造部分の壁及び天井 |
| ☐ 観光用エレベーターの昇降路の囲い |
| ☐ その他の工作物で塗料の剥離、モルタル、コンクリート補修剤（シーリング材、パテ、接着剤等）の除去等の作業 |

YES



下記のいずれかの資格が必要

- ・工作物石綿事前調査者
- ・一般建築物石綿含有建材調査者
- ・特定建築物石綿含有建材調査者
- ・令和5年9月までに日本アスベスト調査診断協会に登録された者

東京労働局公式 You Tube 内
工作物の工事の石綿事前調査
に関する動画



石綿事前調査者講習
登録講習機関



東京労働局 労働基準部 健康課

2025年8月発行(年3回発行) No.135

Terra —建設雇用と改善TOKYO—

発行：一般社団法人 東京建設業協会
建設労働者確保育成事業推進委員会

取材協力/建通新聞社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1

Tel 03-3552-5656 (代表)

URL <https://www.token.or.jp/>

編集後記

趣味の釣りで真夏の炎天下に胴長を着て

水につかりながら竿を振っていたときのこと。だんだんと視界が白み出し、さらには緑がかったようにも感じました。幸い近くに自販機があったため、急いで冷たい水分を採って体を休めました。あれは熱中症の初期症状だったのでしょか。